

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5
Tel. 03-3201-0350 FAX 3201-0351
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

2019年
1月1日
第407号

JR東海労

http://www.geocities.jp/jrroukairou/

J R 東 海 労 働 組 合
発行人 木下 和樹
編集人 高山 浩



書記・小林由美さん慰労会



第33回定期大会で小林体制から木下体制へ



診断書強要都労委証人審問では組合員が弁護士役を



更衣時間を労働時間に！ JR総連の仲間と共に！

J R 東 海 労 の 未 来 に 向 け 全 組 合 員 で 闘 お う ！

今年、働き方改革と称する労働諸法改悪、社会保障費の抑制、消費税増税などが実施されます。JR東海においても、年休抑制と休日出勤という年間休日の実質削減の常態化、事業エリアの拡大や社会環境の変化への対応のためと称して、特殊勤務手当や調整手当の見直し、さらには高齢者雇用制度の見直しなどが目論まれています。ペイしない「リアア」のため、労働条件がさらに切り下げられようとしています。

一昨年、大阪と東京で同時に立ち上げた「年休裁判」で会社は、年間休日120日と年休20日休める要員は確保していると主張しました。しかし、新幹線車掌の乗り組み体制の変更施策が破綻したことにより、このままでは大量の年休失効が予想され、会社は年度初の説明を覆し、休日出勤により社員の休日を剥奪してまでも年休を発給せざるを得なくなっています。年休裁判における会社主張の矛盾を職場で突く闘いもあり、勤務について相当慎重に扱わなければならなくなっています。このことについて自信と確信を持って闘いを継続していきましょう。そのことを通じて組織強化・拡大を勝ち取りましょう。

今年には改憲を許すのか、組織拡大を通じてJR東海労の未来を切り開いていけるか、重要で厳しい年になります。仲間を信頼し支え合い、JR総連に結集する仲間と力を合わせ奮闘していきましょう。中央本部も精一杯奮闘する決意です。共にがんばりましょう。



平和な社会、働きがいのある職場を目指し闘おう！

中央執行委員長 木下 和樹

組合員・家族・OBの皆さま、新年明けましておめでとうございます。

旧年中、JR東海労働運動を職場から地域から担って頂いたこと、また支えて頂いたことに心より感謝申し上げますと共に、中央執行委員会を代表し、新年を迎えてのご挨拶と闘う決意を申し上げます。

上げます。

安倍政権は「バイ・アメリカン(米国製品を買いなさい)」と兵器購入を迫るトランプ米大統領に呼応して兵器購入を拡大させています。また、新たな防衛大綱で、護衛艦「いずも」型2隻を改修し、事実上の空母として運用する方針を明記しました。安倍政権は「平和国家としての歩みを変えることはない」と強調していますが、空母を保有するということは「専守防衛」の立場を完全に捨て去り、集団的自衛権の行使として米軍と共に自衛隊が他国に攻め込むことを目指すということです。それは日本も他国からの攻撃の対象になることを意味します。何としても安倍政権を退陣させ、平和で安全で安心して働き暮らせる世の中を守っていかなくてはなりません。

今年も全力で闘おう！

各地本委員長、OB会長 新年の決意表明

明けましておめでとう
ございます。昨1年間の
新幹線地本の取り組みに
対する激励、多くのご協
力に改めて感謝を申し上
げます。

さて、今年の闘いは何
といたっても改憲を阻止す
るための広範な戦線をい
かに構築するからです。ま
た、「働き方改革」と称
した労働者搾取の攻撃を
跳ね返すことです。そし
て、昨年10月からの一方



新幹線地本 杉澤 秀則

的な休日出勤指定や年休
裁判、診断書強要都労委
に見られるように、JR
東海における年休及び勤
務の扱いが「全くのデー
タラメ」であることが満天
下に明らかになりつつあ
る中、さらに追い詰める
ための闘いを強化するこ
とです。

新幹線車内業務見直し
の破綻はもはや明らかで
あり、相次ぐ効率化必要
員削減で職場は疲弊して
安全が脅かされています。
これらは、ほころび
が見え始めたリニア中央
新幹線計画推進のための
経費捻出のために強行さ
れています。今年も多く
の闘いに挑まなければな

新年明けましておめで
とうございます。昨一年
間の静岡地本の取り組み
に対する激励やご支援に
対して、改めて御礼を申
し上げます。

昨年は、組合員に対す
る診断書提出強要に抗す
るために、全組合員が議
論する場をつくりながら
闘いを展開しました。労
働基準監督署にも足を運



静岡地本 半場 弘恭



び、「年休で診断書の提
出は不要」という回答を
受けてきました。地本一
丸となった闘いにより、
診断書を提出せず処分も
なしという結果を勝ち取
りました。

また、昨年の定期大会
で、組織強化・拡大を目

も、高山線などで災害に
より列車運休が続きまし
た。私たちは、業務委員
会で復旧に携わる方の苦
労に思いを馳せると共に
、人命に被害が出なか
ったことを確認して、今
後の対策について議論を
重ねてきました。

昨一年間は、松阪駅「汽
笛亭」の廃止、タブレッ
トの問題など多くの課題
に取り組んできました。



今、職場では「命令と服
従」により、やらなくて
はいけない義務ばかりが
増大しています。必要な
ときに年休が出ない、休
日が買取り取られるなど、
権利は守られていない状
況です。権利を守るため
に闘いをさらに強化しま
しょう。

憲法改悪の国民投票ま
で秒読みの段階に入りま
した。自民党の改憲草案
を見れば、民主主義から
国家主義へ移行されるこ
とが明白です。私たちは
今年一年、職場内外で民
主主義を守るための闘い
に奮闘していきます。共
にがんばりましょう。



名古屋地本 荻野 隆一

的として4人の執行副委
員長を置く新体制を確立
し、運転士用タブレット
反対、他地本の闘いを私
たちの闘いとして年休裁
判・診断書提出強要都労
委に連帯する取り組み、
組織強化・拡大の闘いを
推し進めてきました。
今年も選挙の年です。

静岡地本は、憲法9条改
悪を許さない闘い、労働
者の当たり前の権利であ
る年間休日120日と年
休20日の完全消化を目指
すため、一方的な休日出
勤反対の闘いを展開し、
組織強化・拡大に繋げ、
労働組合としての姿を見
せ奮闘していきます。

憲法改悪を進める安倍政治を許さず、JR総連は闘う！

JR総連執行委員長 榎本 一夫



JR東海労働組合員の皆
さん、ご家族の皆さん、
明けましておめでとうご
ざいます。穏やかに新年
を迎えたことと思いま
す。

昨年中は、組合と家族

の苦難を解決する取り組
みに敬意を表します。併
せてJR東海労働組合員の
約75%が組織を離脱す
る、まさにJR東海労働組
とJR総連組織の存続の危
機に際して、支援と連帯
を下さったこと、さらに
JR東海労働組に寄り添った
暖かい激励を頂いたこと
にもお礼を申し上げます。

今後ともJR東海労働組
部と共にJR東海労働組再
建の取り組みをお願いいた

します。

さて、安倍政治は「国
民に圧力」を「米国に活
力」をスローガンの如く、
米トランプ大統領に従属
した政治を強引に進めて
います。まさに国会は安
倍首相の下請け省庁の様
を呈しています。それば
かりか、安倍政治と自民
党の悲願である憲法改正
を政治日程に上げまし
た。早ければ来年の通常
国会において「国会発



りませんが、全ての闘い
をJR東海労働組・拡
大に結実するために奮闘
しよう！

して活動させることにあ
ります。つまり現憲法を
明憲法と同様に運用す
る側の意思に与させるの
です。

当然、国家の統治下に
国民を置くことになりま
す。平和や人権、民主主
義も国家から制限を受け
るでしょう。自由もプラ
イバシーなども規制を受
けるでしょう。このよう
な憲法改正にはJR総連
は反対します。その闘い
を多くの仲間と共につく
りましょう。

その決意を申し上げ
て、新年のご挨拶としま
す。

新幹線関西地本 畑野 浩孝



新たな年を迎えるに当たりご挨拶いたします。

私たち新幹線関西地本にとつて昨1年間は、関西地区分会有村浩幸分会長が一昨年末にお亡くなりになり、そのお見送りから始まりました。有村さんは、労働組合活動はもとより、職場内においても多くの人たちから親しまれ信頼されておりました。常に自分自身で考え実践する姿勢と、決して

相手を排除するということなく、誰でも真正面から向き合う姿勢を貫き通してまいりました。私たちはそのような有村さんの姿勢・遺志をしつかりと受け継いでいくことを年頭に確認してまいりました。

います。その原則がずれていった結果の事態であると思えます。私たちは今回の事態をしつかりと教訓としていかなければなりません。私たち地本の課題は数多くあります。今年には参議院議員選挙と地方統一選挙が行われます。私たちの利益を代表して頂ける方をしつかりと選出していかなければなりません。

しかし残念なことに、JR東労組において大量脱退が発生し収拾不能な状況になり、JR総連運動全体に影響を及ぼす事態が発生しました。労働組合である以上様々な意見があつて良いと思いますが、相手を尊重し組合員のために最善な運動は何かを相面々向き合つてつくり出していくことが指導部の責任だと思つて



本部OB会長 福島 一三



明けましておめでとうございます。

職場からJR東海労の伝統を継承し強化している活動に感謝を申し上げます。「休みが欲しい」という組合員の声を組織的闘いに高めた年休裁判。また、車掌削減によ

り生み出された要員で「休日出勤は解消される」と回答した会社。その舌の根も乾かぬ中で休日出勤を実施することに怒りを抱くことは至極当たり前です。具体的戦術は過去の休日出勤反対の闘いを教訓化して組合員が決めることです。あらゆる闘いは組合員との粘り強い相互議論を通じた組織力と連帯の輪を拡大する以外に闘いの方針は見出せません。年休裁判や一方的な休日出勤反対の闘

いはJR総体の課題です。また、「ストップ・リニア」訴訟への連帯は、JR東海労の歴史を画する闘いです。リニア沿線住民ネットワークに大学教授ら有識者と環境問題などを取り組んでいる多くの草の根団体が結集しています。JR東海労を代表してOB会員が共同代表の一角を占め活動しています。労働組合の姿が見えない中で、あらゆる草の根団体との共同行動は多様性の尊重により行動の一致がなされています。JR東海労の組織は小

ん。その大前提は推薦する候補者が、「戦争反対・憲法改悪反対」を明確にしているかどうかです。憲法改正反対を共に闘い得る候補者の当選に向けての取り組みをしつかりとしていかなければなりません。



職場の課題については、一方的な休日出勤反対の闘いです。年間休日120日を一方的に削減する常態化する一方的休日出勤という攻撃に対する反撃の有効的な闘いを早急に構築しなければなりません。現在進めている年休失効裁判(大谷川裁判)において、会社は「年休発給のために休日出勤を行う」と証言しています。即ち、一方的休日出勤は要員問題・年休失効問題と緊密に関連

辺野古基地の建設強行を許すな！ 新幹線地本の仲間が現地入り

しています。具体的な反撃に向けての体制づくりを、連帯する仲間たちや市民活動家の皆さんにも訴え、広範な連帯と支援の取り組みを進めていかなければなりません。

以上のような取り組みを、指導部が率先して行うことを通じて、組合員の利益を守り、組織拡大を目指していかなければなりません。厳しい1年となると思

新幹線地本の組合員とOBの6名は12月17、19日の日程で、12月14日から土砂流入がはじめられた辺野古基地建設反対行動と沖縄戦踏査のために沖縄を訪れました。

2日目は、ガマ(地下壕)、平和の礎、平和資料館、ひめゆりの塔などを訪れ、73年前の沖縄戦を学びました。

3日目は、辺野古埋め立て用の土砂を船積みする琉球セメントの港に行きました。ここでは、現地で反対運動している方に説明を受け、本来土砂の積み込みをする予定だった「塩川港」(台風により破損し、使用できなくなった)や採石場などを案内して頂きました。今回、沖縄を訪れて改めて認識したのは、埋め立てられているのは、計画の数パーセントではないということです。政府は、埋め立てを既成事実化し「あきらめ」を狙っているのです。現地の仲間たちは、あきらめずに闘いを継続しています。私たちもそれぞれの場でできる限りの闘いをするのが大切です。



初日に訪れた現地闘争テントでは、実際に辺野古を埋め立てている現場を目にし、反対運動をしている方から1時間におわたつて基地の説明や反対運動の現状などを話して頂きました。

JR東海労交流連帯基金と何名かの有志から頂いたカンパを、現地闘争している仲間たちにお渡ししました。

職場で奮闘する

仲間からの決意表明

東京第一運輸所分会 川本 正行



明けましておめでとう
とございます。

ボーナスカット裁判で
皆様にお世話になってい
ます。昨年1月11日に東
京地裁に提訴してから、
裁判は12月26日で第6回
口頭弁論を迎えました。
第2回口頭弁論では、新
幹線関西地本から4名の
仲間が駆けつけて頂き、
激励を受けました。一緒
に広域異動で来た元職場
の唐津機関区からも仲間

が来てくれて、大変うれ
しく思いました。一人で
闘っているのではなく、
JR東海労の仲間が後ろ
にいてくれることを実感し心強
かったです。

JR東海労からボーナ
スカット者がいなくなり
ました。同期や先輩に励
まされ、悩みましたが、
裁判で闘う決意をしたこ
とを今では良かったと思
っています。いよいよ今年
から証人調べが始まりま
す。裁判に不安がないわ
けではありませんが、J
R東海労の一員として前
を向いて闘う決意です。
今後とも変わらないご支援
をお願いします。

東京第二運輸所分会 斉藤 厚志



各職場では、慢性的な
要員不足の結果、年休取
得が困難な状況が続き年
休が失効し、現在もなお
この問題は解決されてい
ません。会社は要員をこ

まかし社員の不満を抑え
込んできました。
年休取得完全消化に向
けてこの間、管理者への
抗議、苦情申告等を行っ
てきましたが、年休完全
取得はできませんでし
た。また、年休取得のた
めだけに多数申し込んで
いるのが現状です。本来、
年休は必要な日に申し込
むものであり、消化のた

めではありません。

慢性的な要員不足、時
季変更権の濫用による年
休失効を許さないために
昨年1月22日、第一次原
告3名に続き第二次原告
として、分会から私の他、
今城敬一さん、内村俊幸
さん、廣瀬哲也さんの4
名が提訴しました。

昨年3月ダイヤ改正で
新幹線車内業務見直し
が行われ、車掌が3名から
2名となり、要員が大幅
に削減されました。しか
し、会社は昨年9月13日
に突然、休日勤務につい

て「旅客のご利用が多い
ので休日勤務を本年度10
月から1〜2泊程度実施
する」と「おしらせ」を
提示してきました。

しかし、臨時列車の運
転本数は増えておらず、
一方においては年休の発
給は拡大しています。つ
まり会社が主張する休日
勤務実施の理由はデータ
メダということですが、休
日出勤の本当の理由は、
年休裁判に危機感を持つ
た会社が年休を発給せざ
るを得ない状況であるこ
とは明らかです。

労働者の正当な権利で
ある年休完全取得を勝ち
取るために、年休裁判勝
利に向けて全力で闘いま
しょう。

伊勢運輸区分会 中山 喜弘



新年あけましておめで
とございます。

私は、昨年4月1日、
汽笛亭廃止に伴い警備会
社の三幸株式会社に出向
させられました。汽笛亭
は東海労組合員4名、助
役1名の職場で、全員が
出向となりました。各自
仕事には慣れつつありま
すが、勤務体制や福利厚
生面には酷いものがあり
ます。

私の場合、勤務は基本
が夜勤です。一番堪える
のが夜勤明けの日を公休
にカウントされることで
す。年間休日の半分が明
けです。年休も入り難く、
要員を切り詰めていま
す。また、夜勤で仮眠し
ますが、風呂はもちろん
シャワーすらありません。
シーツの交換は月2
回で非常に不衛生です。
トイレ、仮眠、食事など
を6畳ほどのひと部屋で
行っています。
この間、分会としても
何度も集まり問題を話
し合い、名古屋地本とし
ても出向の問題点を会社

に申し入れました。会社
の回答は、問題は「出向
先で解決せよ」という態
度です。切り捨てと言わ
ざるを得ません。

今、一方的休日出勤指
定が問題です。年休が出
ないことなども全ては要
員不足が原因です。怒り
が込み上げます。年休裁
判勝利に向け連帯してい
きます。

大阪第二運輸所分会 前田 稔



新年明けましておめで
とございます。

会社施策の失敗による
休日出勤指定強制労働
が復活し、3ヶ月が経ち
ました。休日勤務指定の
理由は、ズバリ年休を発

給するためです。
私たちが分会は、「休日
を勝手に奪うな！」を合
言葉に、会社としっかり
対峙しながら、苦情申告、
抗議、質問などあらゆる
闘いを職場から展開して
きました。この闘いと年
休裁判の闘いの根幹は、
慢性的な要員不足を解消
させる重大な闘いです。
そもそも、休日出勤は、
休日に指定できるが年休

には指定できません。と
ころが会社は、時季指定
よりも休日指定を優先さ
せ、その休日に本人の同
意なしに休日出勤を強要
しています。まさに、強
制労働だといえます。

従来会社は、乗務員の
要員不足のリカバリーを
「年休抑制・失効」によ
って列車運行を行ってき
ました。ところが、年休
裁判との関係で、そのリ
カバリーが困難になり、不
本意ながらも急ぎよ10月
から休日出勤を復活せざ
るを得なかったのです。
休みたいとする組合員
の意思を尊重し、休日を
保証できる組織体制の確
立を、1月20日の臨時大
会で構築しましょう！

学ぶ角には 福来たる

国鉄・JR労働運動を知るには
(一財)日本鉄道福祉事業協会
労働資料館



ご来館
お待ちしております

品川区西五反田3-2-13
目黒さつきビル1階
電話 03-5434-3075

鉄道ファミリーは
組合と共に歩み
皆様をしっかりとサポートします



今年もよろしくお祈りします

JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
電話 JR 058-4114・5 NTT 03-3490-3862
健康食品部 直通 03-3493-0289

